

草津市老上地域包括支援センター評価表（平成29年度）

○=できている
△=一部できている
×=できていない

大項目	中項目	小項目	評価		補足説明欄 (評価結果についてのコメント)	
			自己	運営協議会		
1. 基本的事項	1	各年度の基本方針・重点目標	○ (H28○)	○ (H28○)	事業計画は各職員で確認し、実施状況について共有を図り実施した。	
	2	配置職員	○ (H28○)	○ (H28○)	年度を通じて欠員なく三職種の配置は行えている。	
	3	緊急時の連絡体制の確保	○ (H28○)	○ (H28○)	休日の緊急対応については地域保健課から圏域地域包括支援センターに連絡がとれる体制を整えている。時間外の不在時は留守番電話で対応し、折り返し連絡を行っている。	
	4	チームアプローチの確立	包括業務を進めるにあたり、各専門職種がそれぞれの専門性を活かして業務にあたっている。	○ (H28○)	○ (H28○)	朝、週間、月1回ミーティングを行い、三職種の専門性を活かし協議を行っている。専門性を活かした担当者を決定し対応を行っている。
			職員間でミーティングを定期的に行うなど、情報を共有している。	○ (H28○)	○ (H28○)	同上
	5	会議や職員研修を通じた職員の資質向上	職場内の研修(伝達研修・法人内研修等)への機会を確保している。	○ (H28○)	○ (H28○)	会議、研修など積極的に参加し自己研鑽に努めている。研修終了後は復命書の回覧により伝達研修も行い情報共有を行っている。
			市が行なう会議に積極的に参加し、事例を出す、発言するなどして、職員の質の向上を図っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	各種会議や事例検討会、地域ケア会議等で司会やファシリテーターなど積極的に参加し職員の資質向上に努めている。
			職場外の研修の機会を確保している。	○ (H28○)	○ (H28○)	職場外研修の参加を促し、職員の研修の機会を確保している。
	6	施設環境	高齢者や地域住民にわかりやすいようにセンターの看板や案内表示が掲示されている。	○ (H28○)	○ (H28○)	敷地内外にもわかりやすいように表札を掲示している。
			利用しやすさやプライバシーが守れるような相談場所が確保されている。	○ (H28○)	○ (H28○)	執務室とは別に相談室を設け、プライバシーに配慮を行っている。
			法人内の他の事業所とは独立した執務室を設置している。または、他のサービス部門と同一区画を利用する場合はパーテーション等の遮蔽物により、他のサービス部門と区分けしている。	○ (H28○)	○ (H28○)	法人内別事業所と同じ室内で業務を行っているが、パーテーションで区切っている。
	7	情報管理	相談記録を適切に管理している。	○ (H28○)	○ (H28○)	相談記録についてはシステムで管理するか、紙ベースのものは施錠可能な保管庫にて管理を行っている。個人情報についても同様。
			施錠可能な保管庫を持ち、得られた個人情報を適切に管理している。	○ (H28○)	○ (H28○)	同上
			関係機関との連携において、個人情報をやりとりする必要がある場合は、あらかじめ利用者に説明し、同意を得ている。	○ (H28○)	○ (H28○)	個人情報の提供においては、事前に本人家族説明し、同意を得た上で関係機関に提供している。
	8	地域住民に対する広報	パンフレット・チラシを作成、配布し、包括の活動を周知している。	○ (H28○)	○ (H28○)	ホームページ、パンフレット、チラシを作成し、相談の際や地域に出たときに配布を行い、センターの周知活動を行っている。
9	報告・届出書等	職員の変更があった際、事業変更届出書を速やかに提出している。	○ (H28○)	○ (H28○)	今年度は職員の変更はなく運営を行えている。	
		地域包括支援センター実務実績報告書などの報告書を期日までに提出している。	○ (H28○)	○ (H28○)	指定された期日までには提出できた。	

草津市老上地域包括支援センター評価表（平成29年度）

○=できている
△=一部できている
×=できていない

大項目	中項目	小項目	評価		補足説明欄 (評価結果についてのコメント)
			自己	運営協議会	
		地域包括支援センターに対する苦情があれば内容を把握し、本人及び家族の意向を尊重しながら対応している。また、苦情内容を記録化し、回覧するなどセンター内で情報を共有している。	○ (H28○)	○ (H28○)	苦情対応報告書を作成し職員間で協議、対応をおこなった。今年度は6件あり。
2. 総合相談支援業務	1 地域の高齢者の実態把握	担当圏域支援センターの第一号被保険者数（高齢者人口）や単身高齢者世帯数等の担当学区の基本情報を把握している。	○ (H28○)	○ (H28○)	市から公表されているデータや、学区が発行している広報を通じて、老上・老上西学区の高齢者数や高齢化率、独居高齢者数など把握している。
		地域にどのような高齢者がいるか、民児協や地域サロンなど高齢者の集まりに積極的に参加して把握している。	○ (H28○)	○ (H28○)	民児協との交流会開催や定例会出席により、お互いの活動や現状を共有し、高齢者の実態を把握するように努めた。また、地域サロンや地域団体にも出向き、地域の現状を把握している。
	2 地域におけるネットワーク構築	医療と介護、地域が連携して高齢者を支援していく体制づくりのため、学区の医療福祉を考える会議等の開催や開催に向けての準備等を進めている。	○ (H28○)	○ (H28○)	昨年度同様実施、各学区にて開催を行った。
		既存のネットワーク（民児協定例会、老人クラブ、地域サロン等）を利用して、地域実情に応じた各種ネットワークの構築、支援を行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	民児協とは交流会とグループ面談を開催でき、ネットワークの構築を確立できた。他の地域団体に対しても、出前講座や医療福祉を考える会議にてネットワークを構築している。
		地域の社会資源のリスト等を作成・整理し把握している。	○ (H28○)	○ (H28○)	資源マップを確認し、社会資源は都度実態把握するように努めている。
		民生委員等に高齢者虐待に関する基礎理解を得られるような情報を提供している。	○ (H28△)	○ (H28○)	包括正面入り口に、高齢者虐待に関するリーフレットを置き、来所された民生委員や地域団体に対する情報提供の機会を確保している。
		虐待の疑いがあるケースに対して、見守り支援ができるように、見守りネットワーク作りへの取り組みを行っている。	○ (H28△)	○ (H28△)	虐待の疑いのあるケースに対しては民生委員や訪問にてネットワークの中で見守りを行っている。
	3 初期段階での相談業務	相談があれば速やかに対応するなど、相談者と信頼関係構築に努めている。	○ (H28○)	○ (H28○)	緊急性と専門性を判断の上、3職種で協議。速やかに担当を決めて情報提供、訪問による実態把握を行い、信頼関係を築いた上で支援を行っている。相談者が第3者の場合は、対応後の結果報告を丁寧に行った。
		積極的に訪問活動をし、実態の把握に努めている	○ (H28○)	○ (H28○)	新規ケース、継続ケース共に身体状況や家族状況、地域との関わりなどを考慮しながら、電話や訪問活動により、実態把握を行っている。
		実態把握票・基本情報票・経過記録を使用し的確に状況を把握し、緊急性の有無を判断している。	○ (H28○)	○ (H28○)	身体状況や家族状況、地域との関わりなどを考慮の上で、緊急性の有無の判断をしている。
		相談内容は全て記録化している。	○ (H28○)	○ (H28○)	利用者台帳、実態把握票、相談記録をシステムにて作成している。
	4 専門的・継続的相談支援	相談内容に応じて関係機関と連携している。	○ (H28○)	○ (H28○)	必要に応じて、市の関係各課、医療機関、居宅介護支援事業所や介護保険事業所などと連携を図り、情報共有、役割分担に努めている。
		困難事例等についてケース会議を開催する等、適宜関係機関と連携し、支援の方向性を検討している。	○ (H28○)	○ (H28○)	困難事例に関しては、必要に応じてケース会議を開催して関係機関と連携し、支援の方向性、役割の分担を検討している。包括内でも複数職員で対応を図り、協議の頻度を密にした。委託元の地域保健課とも情報共有し、助言を得た。
		権利擁護事例検討会で検討した事例や虐待対応事例、また長寿いきがい課の福祉サービス（訪問介護・配食サービス）利用者については、個別の支援計画を策定し、支援内容について定期的にモニタリングを行なっている。	○ (H28○)	○ (H28○)	<ul style="list-style-type: none"> ・老上包括主催の権利擁護事例検討会はなかった。（転居ケースで、他圏域主催の事例検討会に引継ぎを兼ねて出席したことはあり） ・福祉サービス利用もなかった。 ・虐待対応事例については、個別の支援計画策定により、定期的にモニタリングを行い、支援した。

草津市老上地域包括支援センター評価表（平成29年度）

○=できている
△=一部できている
×=できていない

大項目	中項目	小項目	評価		補足説明欄 (評価結果についてのコメント)
			自己	運営協議会	
3. 権利擁護業務	1 高齢者虐待事例への対応	虐待や虐待の疑いのあるケースの通報を受けた場合には、長寿いきがい課と相談・連携して適切に対応している。相談事例に対して適宜ケース会議等の開催や関係機関との連携など支援の方向性を検討し、対応している。	○ (H28○)	○ (H28○)	長寿いきがい課との相談、連携により対応を行った。対応の中で、緊急性が増大した時には、臨時のケース会議を開催し対応した。
		老人福祉施設等へ措置入所が必要と判断される場合には、長寿いきがい課に速やかに状況を報告し、措置等に向け連携している。	○ (H28○)	○ (H28○)	措置入所に向け、長寿いきがい課と連携し、対応を図った。
	2 成年後見制度・地域福祉権利擁護事業の活用促進	相談業務等から高齢者の判断能力を把握するとともに権利擁護ケース会議を活用し、成年後見制度を利用する必要性を判断している。	○ (H28○)	○ (H28○)	権利擁護ケース会議を活用し、後見制度利用必要性について判断し支援している。
		成年後見制度の利用が必要と判断した場合、必要に応じ、成年後見センターもだま等と連携し、本人及び親族に対して成年後見制度の手続き方法等を説明し、申し立てが行なえるよう支援している。	○ (H28○)	○ (H28○)	成年後見制度利用が必要と判断したケースに対して、もだまや制度について説明し、申立て支援を連携して支援をしている。
		地域福祉権利擁護事業の利用が必要と判断した場合、本人（家族）に対して地域福祉権利擁護事業の手続き方法等を説明し、制度利用ができるように支援している。	○ (H28○)	○ (H28○)	判断能力が低下している、高齢者に対し、成年後見制度・地域福祉権利擁護事業について説明を行っている。
		制度を広く普及させるための啓発を行なっている。	○ (H28○)	○ (H28○)	出前講座等、地域団体に出向く際には、成年後見制度について触れる時間を設けている。また、他圏域の相談員と合同で、成年後見制度についてケアマネジャー向け研修を企画立案して実施した。
	3 支援困難事例への対応	支援困難事例の相談があった場合、必要に応じて訪問するなど実態把握を行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	3職種で協議や関係機関と連携し、訪問による実態把握を行っている。
		支援困難事例を把握した場合には、各専門職種が連携して対応策を検討している。	○ (H28○)	○ (H28○)	介入困難なケースに対しては、介護支援専門員、民生委員など関係者から情報収集し、連携しながら対応を行っている。
		支援困難事例の実態把握のための取り組みとして、地域のネットワークや関係機関との連携体制を活用している。	○ (H28○)	○ (H28○)	高齢者本人と接点のある民生委員や関係機関といったネットワークを活用している。
	4 消費者被害への対応	地域における消費者被害の状況を把握している。	○ (H28○)	○ (H28○)	相談員業務会議にて、消費生活センターとの意見交換、情報共有の場を持ち、消費者被害の実態を把握している。
		把握した消費者被害の情報を地域の協力者（民生委員等）に提供している。	△ (H28△)	△ (H28△)	消費者被害リーフレットを活用し啓発に努めているが、地域団体等への提供はできていない。
		消費者被害の事例を把握した場合、消費生活センターに連絡し、対応を行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	実際に被害に遭われてはいなかったが、1件、相談があった。消費生活センターに相談して、助言をもらい、相談者に伝えた。

草津市老上地域包括支援センター評価表（平成29年度）

○=できている
△=一部できている
×=できていない

大項目	中項目	小項目	評価		補足説明欄 (評価結果についてのコメント)	
			自己	運営協議会		
4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	1 包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築	医療機関・関係機関(医師会・病院地域連携室・民生委員・社協・警察・消防等)と連携している。	○ (H28○)	○ (H28○)	・かかりつけ医や医療連携部署、民生委員等と連携し個別ケース対応を行った。 ・医療福祉を考える会議においては医師会と連携し開催をしている。	
		介護支援専門員と他職種(医療機関等)が連携できるよう支援している。	○ (H28○)	○ (H28○)	医療連携会議等に参加し、介護支援専門員が活動しやすくなるように提案等を行った。また、病院との医療連携フェスタを草津保健所と開催(実行委員として)した。	
		入院・入所・退院・退所時に必要に応じてケース会議を実施する等、医療機関(医師・看護師・MSW)と介護保険施設、介護支援専門員等とが連携できるように調整、支援している。	○ (H28○)	○ (H28○)	入退院時、医療機関・ケアマネジャーと連携し調整を行い、サービスが円滑に行えるようサポートを行った。	
		サービス事業者と介護支援専門員とが連携できるよう支援している。	○ (H28○)	○ (H28○)	個別ケースを通じて介護事業所と介護支援専門員が連携強化をできるように支援を行っている。	
		地域の保健・医療・福祉サービスに関する情報収集及び必要に応じた関係機関(医療・福祉施設)への情報提供を行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	各団体が連携できるように、医療福祉を考える会議に於いて情報収集や情報提供を行っている。	
	2 地域のインフォーマルサービスの連携体制づくり	地域のインフォーマルサービスの活動内容や特徴を把握し、情報の整理を行なっている。	○ (H28○)	○ (H28○)	地域団他への啓発、地域サロン、老人会、自治会イベントなどに出向き、学区の活動内容について情報整理を行っている。	
		3 介護支援専門員に対する個別支援	介護支援専門員に対し、相談窓口を設置し、必要な情報提供や助言指導を行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	介護支援専門員に対して、交流会や事例検討会を開催。相談しやすい関係作りを行い、個別相談時には必要な情報提供や助言を行った。
			介護支援専門員が抱える支援困難事例に対する支援(同行訪問、サービス担当者会議開催支援)を行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	支援困難な事例に関し、介護支援専門員からの求めがあった際には、同行訪問やケース会議、サービス担当者会議に参加し助言を行っている。
			介護支援専門員からの相談の記録等を残し、再度相談があった際に活用できるようにしている。	○ (H28○)	○ (H28○)	システムにて相談内容を記録し、再度相談があった際には速やかに対応が図れるよう、各ミーティングでも情報共有を行っている。
			ケアマネジメントの質の向上のために、介護支援専門員に必要な情報提供、研修の実施等を行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	・個別ケースや事例検討会を通じて、ケアマネジメントの質の向上のために必要は情報提供や助言を行っている。 ・草津市認知症ケアマネジメント研修を老上学区の主任介護支援専門員と協働で実施。また、ケアマネジメントの質の向上のため講師を依頼し課題整理総括表の活用について研修を行った。
5. 介護予防ケアマネジメント事業	1 ケアマネジメントの実践	課題分析を適切に行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	・利用者・家族の意向や思いに寄り添い(個人情報に留意しながら)、必要な課題を分析し利用者本人に合った目標設定、月々のモニタリングを行っている。 ・サービス事業所からの評価やモニタリングの報告書を確認し、必要であれば直接確認を取りながら、サービスに対する相談連携を行っている。	
		アセスメント結果等の個人情報に関する取り扱いについて、対象者に説明し同意を得ている。	○ (H28○)	○ (H28○)		
		対象者及び家族と面接しながら、介護予防ケアプラン作成を適切に行なっている。(目標・サービス利用などの決定)	○ (H28○)	○ (H28○)		
		計画実施状況、目標達成、サービス内容の適切性、新たな介護予防ニーズの有無について、的確にモニタリングを行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)		
		必要に応じて医療機関と連携を図り、情報や結果を還元している。	○ (H28○)	○ (H28○)	・担当利用者に対して、受診同席を行ったり、医療連携連絡票を利用し、医師と連携を図った。 ・医師からの情報提供や退院サマリーに留意し、ケアプラン作成し交付している。	
		効果の評価を適時・適切に行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	適時、目標達成状況を確認し評価を行っている。見直しが必要な場合はサービス担当者会議を開催しケアプランを作成している。	
	2 総合事業にかかる介護予防ケアマネジメント業務	基本チェックリストの実施からプラン作成、地域へのつなぎといった一連の業務を適切に実施できた。	○	○	・基本チェックリストにて該当した事業対象者には、短期集中サービスや歯あわせ教室・らくらく教室等の草津市独自サービスにつなげ、その後は地域の活動へ移行するように支援した。	

草津市老上地域包括支援センター評価表（平成29年度）

○=できている
△=一部できている
×=できていない

大項目	中項目	小項目	評価		補足説明欄 (評価結果についてのコメント)
			自己	運営協議会	
6. 認知症対策	1 普及・啓発の推進	地域住民や事業者などに認知症に対する正しい知識を身につけてもらうよう、活動を行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	認知症サポーター養成講座を行っている 計5件 また地域での出前講座においても、認知症啓発を行っている。
	2 介護サービス・認知症ケアの充実	認知症高齢者に対しその状態に応じた適切なサービスが提供されるよう、支援を行うとともに、関係者のケアマネジメント力の向上を図っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	圏域のケアマネジャー勉強会、事例検討会、認知症ケアマネジメント研修（ケアマネジャー対象）を開催し認知症ケアマネジメント力向上に努めた。
	3 早期発見・早期対応の推進	認知症の重度化の抑制や症状の緩和を図るため、医療機関への早期受診や、認知症の初期から状況に応じて認知症の人とその家族を支援していく仕組みづくりに取り組んでいる。	○ (H28○)	○ (H28○)	認知症地域支援推進員会議・認知症初期集中チーム会議に出席し、認知症の重度化の抑制や症状の緩和を図れるように市と協働し、認知症本人や家族をささえるしくみに取り組んでいる。
	4 地域見守り体制の推進	地域住民が認知症に対する理解と意識を持ち、認知症のある人やその家族を支援する具体的な行動がとれるよう促す取り組みを進めている。	○ (H28○)	○ (H28○)	・地域での認知症サポーター養成講座の開催やサロンでの認知症啓発や、認知症高齢者徘徊模擬訓練を通して啓発を行った。 ・認知症高齢者に対して、実態把握を行いSOSネットワークの登録や必要時GPSの申請・更新を勧めるなどの支援を行った。
	5 介護者のケアの充実	介護者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるような、介護者の負担を軽減する支援を行っている。	○ (H28○)	○ (H28○)	年2回のなごみ会に参加。認知症介護経験者より実体験を聴き、支援を行う際に活かしている。
【その他の取り組み】 (総合相談・権利擁護) ・総合事業における活動型デイサービスの実態把握 ・災害SOS委員会への出席 (包括的・継続的ケアマネジメント) ・草津市地域福祉活動計画作成委員会への出席 ・湖南圏域病院・在宅連携検討会議への出席(医療介護連携フェスタ実行委員) ・老上西学区社会福祉協議会評議員 ・老上学区社会福祉協議会評議員 (介護予防ケアマネジメント) ・地域にて、介護保険や総合事業・介護予防についての講座を行った。 (認知症対策) ・老上西学区「地域安心声かけ訓練」の実施 ・地域団体や地域のサービス事業所等に対して認知症サポーター養成講座実施。		【総合評価】 (総合相談・権利擁護) ・新規ケースのみならず、継続ケースの継続的な実態把握に努めた。 ・個別ケースにおいて、民児協と密な連携を図る機会が増えている。 (包括的・継続的ケアマネジメント) ・介護支援専門員のスキルアップを図るため、事例検討会・研修会・交流会を企画運営し、介護支援専門員が自主的に取り組めるよう努めた。 ・地域包括ケアシステムに向けて医療福祉を考える会議に於いて、ケアマネジャーと関係団体とのネットワーク作りを行った。 ・医療機関と介護支援専門員との連携について、円滑に支援できる様、取り組みを行った。 (介護予防ケアマネジメント) ・要支援直営・委託の担当ケースを通じて、ケアマネジメントを行い、自立した日常生活を継続できるよう支援した。 (認知症対策) ・老上西学区(新浜・矢橋町内)の「地域安心声かけ訓練」を実施し、地域住民に啓発ができた。			
【課題】 (総合相談・権利擁護) ・権利擁護(後見申立て、消費者被害)の相談窓口であるということの周知が不十分。 (包括的・継続的ケアマネジメント) ・介護支援専門員が主体的に取り組めるよう企画運営を考えていく必要がある。 ・介護支援専門員と医療機関との連携について強化する必要がある。 ・地域福祉活動の推進が必要。 (介護予防ケアマネジメント) ・地域での福祉活動・いき百団体等への介護予防の啓発が不十分。 ・地域にある、最新のインフォーマルサービス情報を確認する必要がある。 (認知症対策) ・地域への認知症サポーター養成講座がまだまだ十分実施できていない。(啓発)		【今後の取り組みなど】 (総合相談・権利擁護) ・権利擁護の相談窓口でもあることの周知活動に力を入れる。 ・引き続き、継続ケースでサービス未利用者の実態把握を継続する。 (包括的・継続的ケアマネジメント) ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療やサービス事業所、地域団体とのネットワーク作りの強化のため、研修会・交流会を実施していく。 ・湖南圏域病院・在宅連携検討会議にて、実行委員として介護支援専門員と医療機関が連携しやすくなる取り組みを進めていく。 ・各学区の医療福祉を考える会議において、草津市社会福祉協議会と協働し地域福祉活動を推進していく。 (介護予防ケアマネジメント) ・引き続き、自立支援に基づいたプランを作成する。 ・地域におけるインフォーマルサービス(サロンやいき百等の活動)の再確認を行う。 (認知症対策) ・昨年同様、老上・老上西地域の意向に伴い、認知症高齢者徘徊模擬訓練を実施する。 ・認知症サポーター養成講座を行い、啓発を行う。 ・認知症初期支援集中チームと連携し、認知症高齢者に対する支援を行っていく。 ・草津市主任介護支援専門員連絡協議会にて、認知症ケアマネジメント研修を実施する。			